

# 白井市第5次総合計画基本構想(素案) 説明会資料

2014年12月13日(土)

## はじめに 総合計画・基本構想とは

### ■総合計画とは■

- 白井市をどのようなまちにしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかを示す、**まちづくり全体の指針**となる計画です。

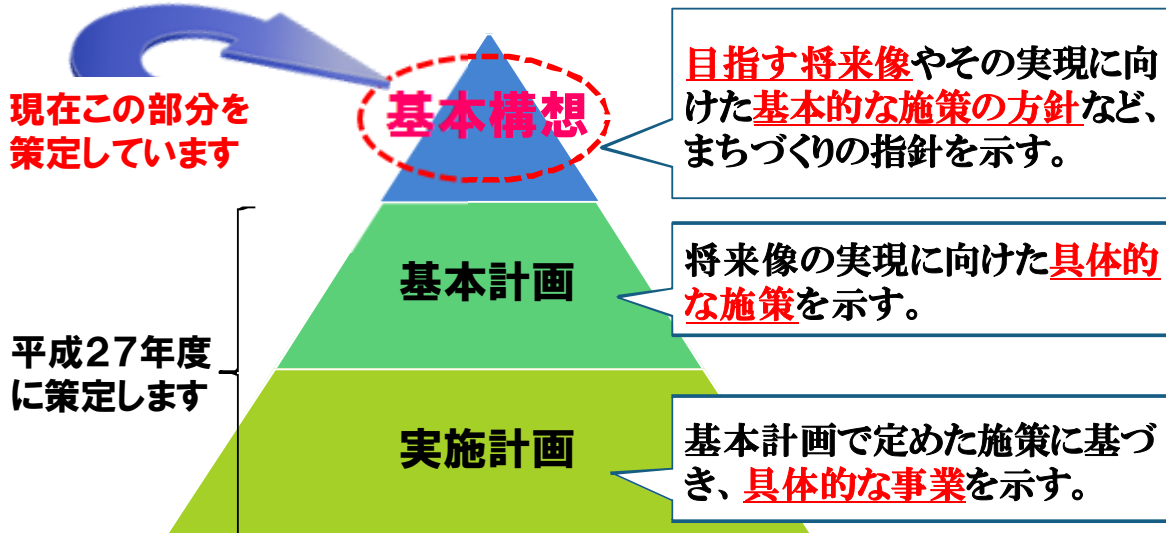


- 現在、進めている第4次総合計画の計画期間が平成27年度で終了するため、平成28年度から10年間の計画として、**新たに第5次総合計画を策定**しています。

## ■基本構想とは■

- 基本構想は、総合計画のうち、まちの将来像やそれを実現するためのまちづくりの方向性を示す部分です。

## ■総合計画の体系■



2

## 基本構想の策定に至るまで

### ■市民意見の把握■

#### ○ 5月 住民意識調査

対象：白井市在住の18歳以上の男女2,500人（無作為抽出）  
回収数：1,113件（回収率：44.5%）

#### ○ 6月 勉強会 （2日間で55名参加）

『10年後の白井市の望ましい姿』について意見交換。  
～「子育て」「農・商・工業」「健康・医療・福祉」「教育・生涯学習」「環境」「都市・防災・防犯」の6分野に分かれて～



3

## ○ 7月 タウンミーティング (6地区で146名参加)

『10年後の白井市とこの地域の望ましい姿』について意見交換。



## ○ 7月 次世代を担う児童生徒アンケート

対象：小学5年生・中学3年生・高校2年生

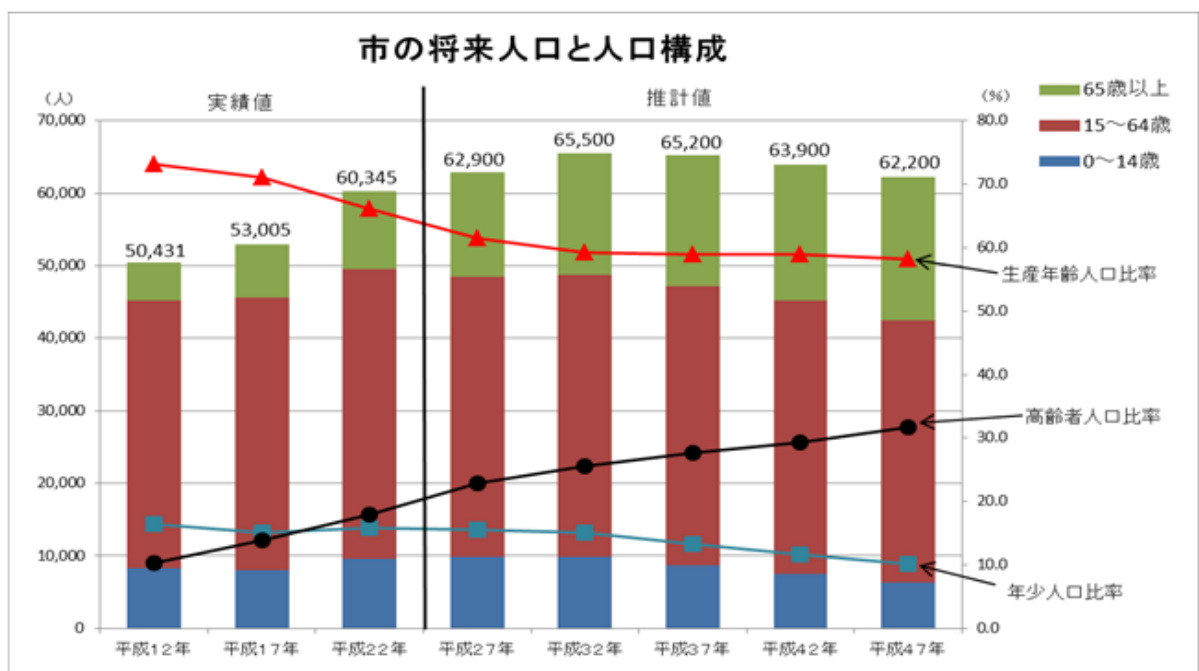
回収数：597件 (回収率：100%)

4

## ■ 基本構想のポイント1

### ● 少子化・高齢化の更なる進展と人口減少への対応

- ・白井市の人口は、平成32年をピークに減少していく見込みです。
- ・年少人口や生産年齢人口は減少し、高齢者人口が増加する見込みです。



5

## 勉強会やタウンミーティングでのご意見

- 子どもを預かる体制の充実
- 親子が遊べる環境の充実
- 教育内容や教育環境の充実
- 楽しく子育てできる環境
- 若い世代が永住できるまち
- 若い世代が活躍するまち
- 子育てに高齢者が活躍できるまち
- 地域での子どもを見守り、声かけ
- 起業家の育成



6

● 子どもを安心して産み、育てられる環境の整備など、若い世代の定住を促進する



● 地域の貴重な人材として、高齢者が持つその多様な力や経験を発揮できる環境をつくる

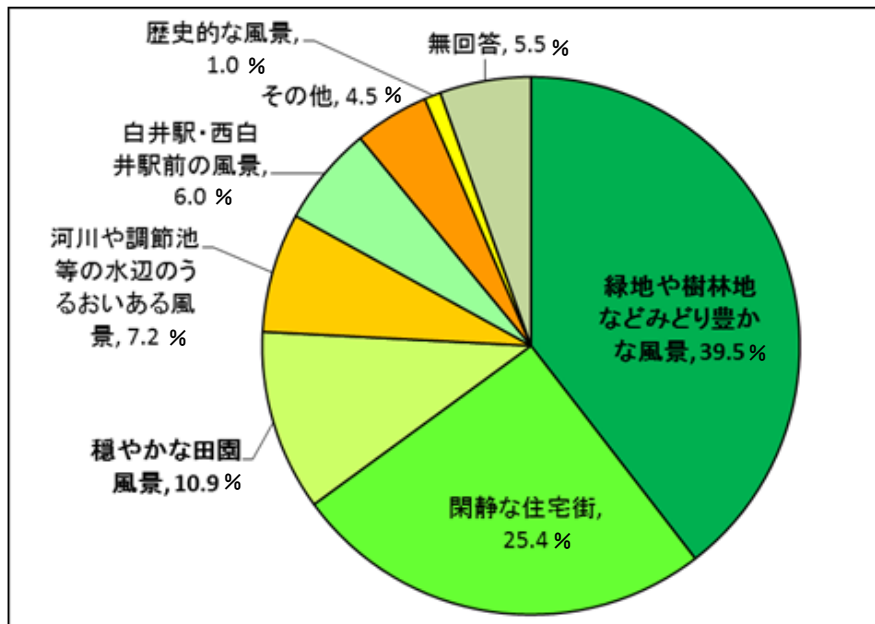
7



## ■基本構想のポイント2

### ●みどり豊かな風景や田園風景は白井市の財産

住民意識調査 ～白井市の優れた景観について～



8

## 児童生徒アンケート

～将来白井市がどんなまちになったらいいか～

### ◇小学5年生 トップ5◇

事件や事故、災害が少ない安全なまち	82.6%
子どもたちが元気に遊べる場所がたくさんあるまち	75.9%
お年寄りや体の不自由な人にやさしいまち	67.2%
梨などのおいしい食べ物ができる農業のまち	63.6%
自然や緑が多いまち	63.2%

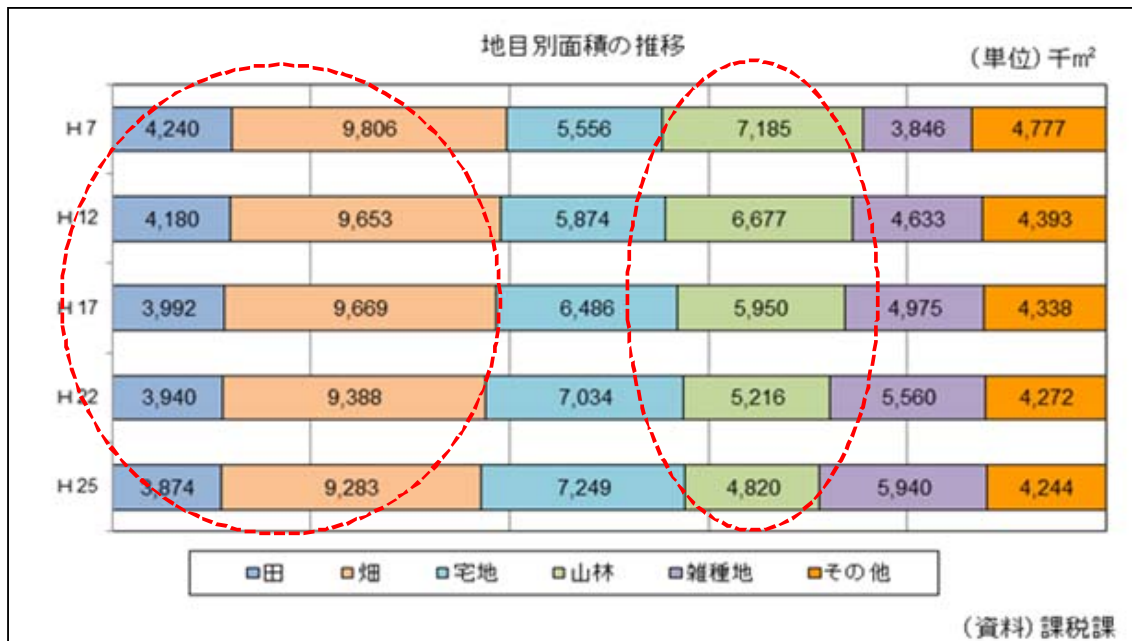
### ◇中学3年生 トップ5◇

子どもたちが元気に遊べる場所がたくさんあるまち	64.5%
事件や事故、災害が少ない安全なまち	64.5%
自然や緑が多いまち	59.2%
お年寄りや体の不自由な人にやさしいまち	55.3%
お店やレジャー施設などがあるにぎやかなまち	52.6%

9

しかし…

近年、田・畑・山林の面積は減少しています



10

- 自然環境の保全
- みどりがあふれる風景の保全
- みどりとしての農地の保全
- みどりを活かした憩いの場づくり
- 農産物の地産地消や  
高付加価値化への取り組み



11

## ■基本構想のポイント3

### ●人與人、地域と地域の「絆」の重要性

東日本大震災をきっかけに、人や地域の絆や交流の重要性が再認識されています。

勉強会やタウンミーティングでのご意見

- ・ 多様な世代の交流・共生・活躍
- ・ コミュニティの充実
- ・ 地域ぐるみの健康づくり
- ・ 地域での見守り
- ・ 地域サロン・広域的サロンの充実
- ・ 人・地域のつながりのあるまち



12

### ●集いの場、にぎわいの創出

今後、人口の減少や少子化・高齢化の進展により、まちの活力の低下などが懸念されています。

勉強会やタウンミーティングでのご意見

- ・ イベントや祭りの開催でにぎわいの創出
- ・ 駅前を中心に人が集い活性化するまち
- ・ 商店街の活性化によるにぎわいづくり
- ・ 商業施設やレジャー施設の誘致

13

# 児童生徒アンケート

～将来白井市がどんなまちになったらいいか～

## ◇高校2年生 トップ5◇

鉄道やバスなどの公共交通が利用しやすいまち	30.7%
店舗やレクリエーション施設などが多い商業が発達したまち	29.2%
イベントなどが多くにぎわいがあるまち	25.5%
公園や広場などが充実したまち	22.4%
スポーツをする環境が充実したまち	21.9%

14

- 多世代が交流できるサロン
- 市内外の人が交流する拠点づくり
- 駅前などの都市拠点づくり
- バリアフリーなど交通弱者でも移動しやすい環境づくり



15



# まちづくりの重点戦略

## 戦略1

### 若い世代定住プロジェクト

- ・ 快適な生活空間の創出、子育てを安心して楽しめる環境づくり、質の高い教育環境づくり、活躍の場づくり等、単身世帯・子育て世代など若い世代の定住を促進するまちづくりを推進

## 戦略2

### みどり活用プロジェクト

- ・ 環境保全の取り組み、みどりを活かした憩いの場づくり、みどりとしての農地の保全、農の営みを活かした風景づくり、農産物の地産地消や加工等による高付加価値化づくりなど、まちのみどりを活かしたまちづくりの推進

## 戦略3

### 拠点創造プロジェクト

- ・ 駅前や市役所周辺の都市拠点づくり、サロンなど目的に応じて人が集まる場や空間づくり、市内外の人が交流する拠点づくり、交通弱者でも移動しやすい環境づくりなど、様々な拠点があるまちづくりの推進

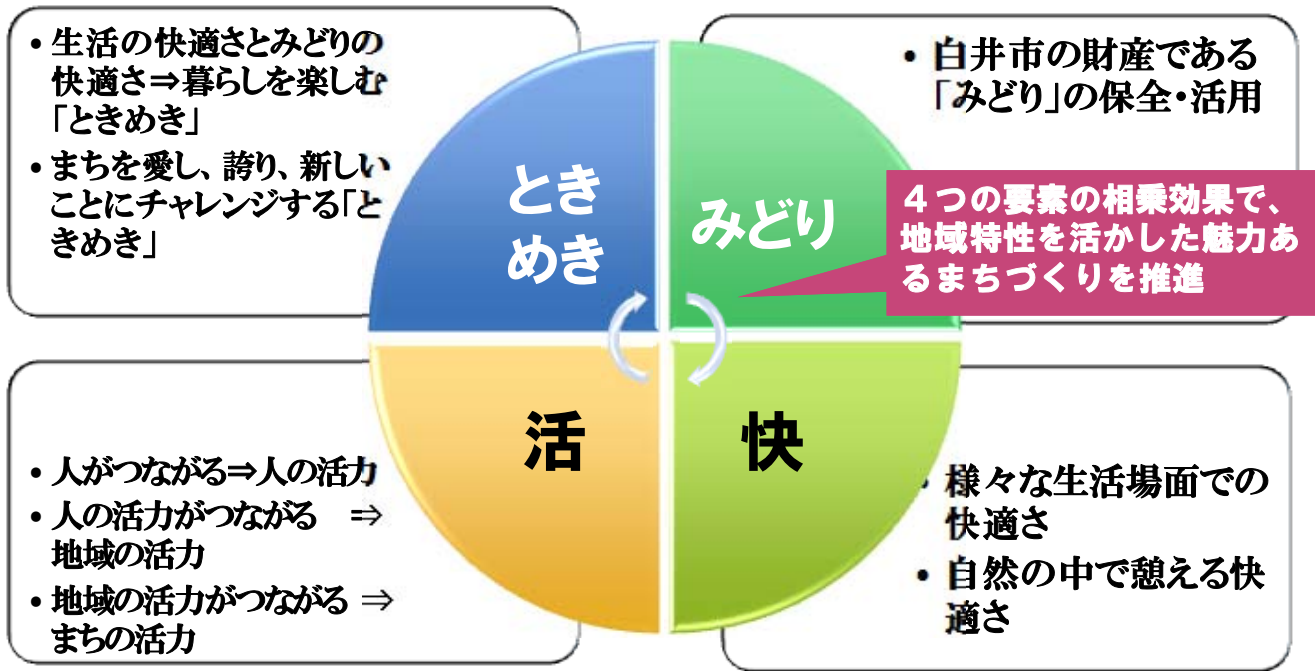
16



17

## 将来像

### ときめきとみどりあふれる快活都市



## まちづくりの進めかた

### 情報・共有

- ・ 市民わかりやすい情報発信
- ・ 市民の声の広聴
- ・ 市民と行政との間での情報共有
- ・ まちの魅力の発信

### 持続可能な行財政運営

- ・ 自主財源の確保に向けた取組の推進
- ・ 選択と集中による効果的な財源配分
- ・ 限りある資源の有効活用

### 参加・協働

- ・ まちづくりの主役である市民の参加促進
- ・ 市民と行政の役割分担と協働で白井らしいまちづくりの推進

# 将来都市構造



- 田園風景が残る緑農ゾーン、緑の中で市街地が形成されている緑住ゾーンのそれぞれの魅力、特性にあったまちづくりの推進
- 中心拠点：白井市全体の中心となるよう、コンパクトでにぎわいのある拠点づくり
- 生活拠点：地域住民の暮らしを支える拠点づくり
- 各地域と中心拠点や生活拠点を結ぶ軸、市内の地域間交流を支える軸の整備

